



大会レポート

第66回都市計画全国大会

～山口県周南市～

茨城県土木部都市局公園街路課 主任 湯口 佳

平成26年10月30日から31日まで、第66回都市計画全国大会が山口県周南市で開催されました。

全国から約800名が集まり、研究発表や意見・情報交換が行われました。

■大会1日目

○主報告

「都市行政をめぐる最近の動きについて」

現在急激な人口減少が進んでおり、このままでは各種のサービス提供や雇用が維持できなくなるため、都市機能エリアをコンパクト（集約）化し、それらの拠点をネットワーク化することで、都市機能を確保する必要があります。このため、国土交通省では「コンパクト＋ネットワーク」の施策を推進しており、各種支援措置もあるので、活用願いたいとの報告がありました。

○部会（第1部会）

「コンパクトシティの実現に向けた地域拠点周辺の整備と市街地の集約誘導」

テーマごとに3つの部会に分かれて報告が行われました。このうち、第1部会では、コンパクトシティの実現に向けた地域拠点周辺の整備と市街地の集約誘導について3市から事例報告がありました。

<報告1> 「岩田駅周辺地区における歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」

山口県光市では、少子高齢化に伴い、既存地域コミュニティの維持が困難になるなどの課題を踏まえ、核となる施設と、都市基盤の再配置や整備を進めることとしており、様々な施設を一つに集約する「複合型施設」の平成30年度オープンを目指しているとの報告がありました。

また、本事業は山口県が支援する「コンパクトなまちづくりモデル事業」のモデル地区の一つに選定されているとのことでした。

<報告2> 「公共交通とまちづくりが整合した都市構造の構築」

群馬県高崎市では、都心ゾーンと地域中心拠点とを公共交通でつなぐとともに、新幹線、高速道路の広域ネットワークで結ぶことで「多核連携都市」を形成すること

を目指しており、重点プロジェクトとして『高崎駅東口地区を核とした広域交流拠点都市の形成』と『高崎駅を拠点とした公共交通網の再構築』を進めているとの報告がありました。

<報告3> 「持続可能で創造的な多核連携都市の形成～公共交通を基軸とした熊本型のコンパクトなまちづくり～」

熊本県熊本市では、中心市街地の活性化に注力し、2025年度時点で居住促進エリア内の人口密度を低下させないという目標を掲げているとの報告がありました。

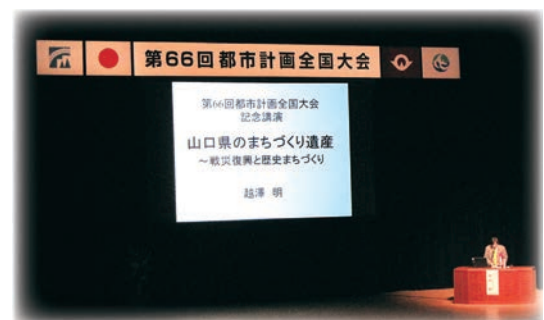


○記念講演

「山口県のまちづくり遺産 ～戦災復興と歴史まちづくり～」北海道大学名誉教授 越澤 明 氏

戦前及び戦後の都市計画について、事例を基に講演がありました。戦前は、農地解放前で用地取得が容易で、各地で都市計画の実践経験が蓄積されたことや戦災復興計画の特色についてお話がありました。

また、「函館大火の復興は、我が国の『都市計画遺産』であるが、地元商店街の意向に従い過ぎて、緑化が一切無くなってしまっている。地元の意見を取り入れるのは大事だが、国が総合的な整備内容について助言する必要がある。」といったお話がありました。



■大会2日目

3班に分かれての現地調査が行われ、私は「県北・県中央コース」に参加しました。

①土原新川線街路整備事業

バイパス整備と併せて、交通広場（駐車場）を整備することにより、沿道の松陰神社への観光客による交通渋滞が緩和されたそうです。松陰神社は萩市最大の観光地であり、ホームページ等で公表している市の観光客数は松陰神社の観光客数とのことでした。

②堀内地区重要伝統的建造物群保存地区

当該地区では、一般住宅も伝統的建造物群の構成施設となっており、固定資産税等の優遇措置はあるものの、条例によって地区内の建築行為等は全て許可制とするので、町並み保存を総合的に進めるための措置が講じられており、均整の取れた町並みが形成されていました。

目的を持ったまちづくりを行う上では、住民の協力が不可欠であることを改めて認識しました。



堀内地区重要伝統的建造物群保存地区

③指月公園

要害、本丸、二の丸の大部分は国指定史跡となっており、指月山は国指定天然記念物に指定されています。桜の名所として市民、観光客に親しまれているとのことでした。



指月公園

④維新百年記念公園

陸上競技場は、平成23年に開催された第66回国民体育大会の主会場となることを契機に改築されたとのことで、施設も最新で非常に魅力的な施設となっていました。また、この公園は「日本の都市公園100選」に選ばれており、スポーツ活動の場としてだけでなく憩いの場としても親しまれているとのことでした。



維新百年記念公園陸上競技場



維新百年記念公園陸上競技場（グラウンド）

⑤新山口駅周辺整備事業

現在は一部連絡通路が供用開始されたのみですが、平成28年度完成を目的に整備を進めているとのことでした。

■終わりに

今回都市計画全国大会に参加することで、全国的な課題となっている、少子化に伴う人口減少対策としてのコンパクトシティへの他県の取り組み状況など、本県における今後のまちづくりへの取り組みにあたり、非常に参考となるお話を伺うことが出来ました。

また、現地研修においても、歴史的な文化資産を活かしたまちづくりや国体開催施設における取り組みなど、現在本県が取り組んでいる事業に対して非常に参考となる、大変有意義な研修となりました。